

# 「ワークシート④ 避難先を決めておこう」

学習のねらい：被災時に家族が避難する先を知っておく。

(活用例)

- ・ 家に持ち帰り、家族で話し合って、記入する（家族への周知も図る）。
- ・ 災害用伝言ダイヤルで録音内容を30秒以内に読み上げられるかを練習する。

(指導上のポイント)

◆自分が避難できる場所はどこか、家族はどうするのかを話し合わせる。

※逆に、自分がどのくらい待てば、引き取りに来てくれるのかもわかるようになる。

また、家族と非常用持ち出し袋の置き場所についても話し合っておくように指導する。

(指導上のポイント)

◆171の説明だけに終わらず、貼り紙などでも、家族と連絡を取ることができることを指導する。

※災害用伝言ダイヤルの体験可能な日

- ・ 毎月1日、15日 0:00~24:00
- ・ 1月1日 00:00~1月3日 24:00
- ・ 防災週間（8月30日 9:00~9月5日 17:00）
- ・ 防災とボランティア週間（1月15日 9:00~1月21日 17:00）

防災ノート(ワークシート④)  
小学生(高学年)版

名前

### 避難先を決めておこう

もし、避難することになって、誰がどこに避難するか決めておけば、家族がおたがいに見つけやすくなります。

そこで、家族でどこに避難するか、また、避難した後どうするか話し合ってみましょう。

だれが	地震にあう場所	避難する場所	避難した後
【例】	家の近く	学校	家族がむかえに来るまで待つ。
つよし	〇〇海岸の近く	△△△避難センター	災害用伝言ダイヤル(171)で、避難している場所を伝える。
※上記の例を参考に記入させる。			

#### 災害用伝言ダイヤル(171)について

<p><b>伝言の録音方法</b></p> <p>171をおす</p> <p>録音の場合 1</p> <p>電話番号 (XXX)XXX-XXXX</p>	<p><b>伝言の再生方法</b></p> <p>171をおす</p> <p>再生の場合 2</p> <p>電話番号 (XXX)XXX-XXXX</p>
--	--

お家の人に話し合った感想を書いてもらいましょう。

例) いざという時に安心して逃げることができるようになりました。等

家から避難するときは、避難したことがわかるようにしておきましょう。